ふるさと納税過去最高

北秋田市 納入410件、6028万

北秋田市は12月末現時の27年度ふるさと納税寄付金の納入状況をまとめた。納入件数は410件、納入金額は6028万7千円で、件数はふるさと納税ポータルサイトの活用で前年度の約7倍、金額は5000万円の大口寄付があったことから前年度の約19倍と大幅な伸びを示し、過去最高を更新した。

ふるさと納税は、生まれ、地方自治体に寄付した場合、住民税や所得税の税額から、寄付金の2千円を超える部分の一定限度まで控除される。

同市は、20年8月に「きたあきたふるさと寄付金（ふるさと納税）取扱要綱」を制定、寄せられた寄付金を▽豊かな自然環境にはぐくまれるふるさとづくり事業▽活気あふれるふるさとづくり事業▽ふれあいとぬくもりのふるさとづくり事業－などの取り組みに活用することとして、市のホームページのほか、ふるさと会や100㌔マラソンといった機会をとらえてPRに努めている。

初年度の20年度は16件の95万5千円、21年度は10件の70万円、22年度は13件の58万円、23年度は24件の120万5千円、24年度は34件の166万4千円、25年度は34件の215万5千円、26年度は56件の312万9千円となっており、制度の浸透とともに寄付金の総額は年を追うごとに増加してきている。

同市は、これまで寄付者に対するお礼の品としてコメや比内地鶏加工品などを贈ってきたが、市の特産品のさらなるPRを図るため、本年度からふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」を活用、クレジットカード決済で簡単にふるさと納税ができ、1万円以上の寄付者が市の用意したお礼の品（特産品）を選択できるようにした。

その結果、本年度の納入状況によると、12月末現在の納入件数は410件、納入金額は6028万7千円となっており、過去最高だった26年度と比較して件数は約7・3倍と大幅に増加したほか、寄付金額は市出身で秋田市在住の会社役員からの5000万円という大口の寄付があったことから約19・3倍となったが、この大口寄付を除いても約3・3倍の増加となっている。

市の担当者は「本年度は500万円が目標だったので、想像以上の結果。大口寄付もあったが、ふるさとチョイスの活用で全国津々浦々から多額のふるさと納税をいただき、北秋田市の特産品をPRするいい機会にもなった」と話している。